

# 田尻

## 第10号

発行日 2020年8月31日  
 発行 田尻学区コミュニティ推進会  
 発行責任者 田尻地区社会福祉協議会  
 編集 大森健一  
 事務局 広報部  
 電話・FAX 田尻交流センター  
 (42)1552

## 田尻学区一斉清掃

上田尻上の代AP支部



今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、例年より1ヶ月延期して、田尻学区一斉清掃を7月12日に実施した。早朝より各支部一斉に草刈り、土砂上げを開始し、刈り取った

草は指定の場所に山積みにしていった。いつもの年と変わらず多数の人が参加し、怪我やトラブルも無く、無事清掃が終わり、地域は以前よりもきれいに、そして明るくなつた。



赤羽渡志AP支部

下田尻支部 田尻団地

例年、長寿を祝う事業として、9月に開催している敬老会について、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止することになりました。なお、記念品とマスク、市長からのメッセージが該当者に配布される予定です。

### 敬老会の中止について

現在もまだ放射線の影響で帰れない人や風評被害で苦労された人の話を聞き、まだまだ原子力災害の復興が終わりではないと感じさせられた研修会だった。

7月4日、学区コミ推・地区社協主催で、福島方面的研修会が行われた。出発時は雨が降って気分も沈みがちだったが、三春町にある福島県環境創造センターに到着の頃には、小雨になり気分も上々。まず施設内に入つてその広さに驚いたが、地震発生時刻から経過した「日時、分秒」をリアルタイムで表示されていたのが印象的だった。

11月30日(月)	11月8日(日)	10月18日(日)	9月5日(土)	9月19日(土)	9月20日(日)	10月4日(日)	10月18日(日)	11月8日(日)	11月30日(月)
広報紙「田尻」発行	ふるさと再発見ウォーク	レクと健康の集い(中止)	ゴーヤ料理教室	文化講演会	田尻学区敬老会(中止)	田尻川河川清掃	ふるさと再発見ウォーク	ふるさと再発見ウォーク	広報紙「田尻」発行

### 今後の主な予定

環境創造センターで3・11大震災時の原子力災害地区について説明を受ける



### 福島県環境創造センター視察

### 本部役員研修会

## 青少年健全育成部

7月11日、出席者を縮小して実施された。前半は、

田沢消防所・日高交番より、

防災、防犯状況の説明。及

び、田尻幼稚園・田尻小・

滑川中・日高中からは、園

児、児童、生徒の学校での

様子の中で特に、三密にな

らないよう新しい取り組み

を始めた生活の様子などが

報告された。後半は、学校

心理士ガイダンスカウンセ

ラーの大島澄江さんから

## 部会だより

「新しい地域社会のつながりを」をテーマに講演が行われ、新型コロナウイルスに対して大事なのは免疫力をつけることなど、大変参考になる内容だった。



親子で七夕かざりづくりを楽しむ



テーマについて講演する大島澄江さん

## 環境美化部

## あんしん・安全ネットワーク部

## 災害時こそ町内会

「向こう三軒両隣」「遠くの親戚よりも近いの他人」と昔から言われてきたが、現実としては、人間関係が希薄なものになり、コロナ禍の中、孤独死が問題視され、テレビや新聞などでも取り上げられることが多くなっている。

しかし、こんな時だからこそ、隣近所が助け合い、支え合うことにより、ご近所の命を守ることができるのはないだろうか。災害時こそ町内会。地道な横のつながりが大切な命を救う。皆様のご理解とご協力をお願いします。

防犯灯のLED化  
の推進について

防犯灯は防犯はもとより、災害時の避難、非行防止など重要な役目を果たしているが、市の補助事業で、現在自治会が管理する防犯灯のLED化の推進を図っている。

防犯灯は蛍光灯からLEDに置き換えることで省エネ・電気料金の節減や修繕費の低減といった様々な目的にかなう。すでに多くの自治会が補助事業を活用しLED化を実施している。

まだLED化していない自治会は、この機会に検討いただきたい。

## 田沢消防所だより



## 日本各地を襲った局地的な豪雨



災害は、忘れた頃に起きます。この時期は、10月頃まで降る雨、秋雨の影響により洪水や内水(側溝や排水路など)氾濫、土砂崩れ等が起こりやすくなります。皆様の風水害への備えは万全ですか?

## やめよう！あおり運転！



## あおり運転をした場合

## ①妨害運転（交通危険のおそれ）

3年以下の懲役又は50万円以下の罰金  
違反点数25点・免許取り消し（2年）

あおり運転のせいで危険が生じた場合

## ②妨害運転（著しい交通の危険）

5年以下の懲役又は100万円以下の罰金  
違反点数35点・免許取り消し（3年）

日立警察署  
日高交番  
420-0110



裏剣に話を聞くメンバーの方々

## さんあいコーナー

ふれあい健康クラブ (れんわくクラブ)

田尻交流センターグループ

今期のさんあいクラブは新型コロナウィルスにより3ヶ月間休止を余儀なくされた。7月から市社協の指導のもと活動を開始し、短縮時間であったが、皆の笑顔がはじけた。今後も予断は許さないが、注意を払いながら継続していくけたらと思う。

上畠ほつとサロン

消毒と三密を避けながら8月11日、上相田集会所で「転倒予防の講話」を受けた。参加者16人は、自分の全身状態を見て転倒予防策を考えた。

沼田一一雄さん

日立市高齢者クラブより表彰



田尻学区高齢者クラブ連合会

今は我慢の時

新型コロナウイルスに感染しない・させないために、高齢者クラブは活動を自粛している。

特に高齢者は重症化しやすいと  
いうリスクを抱えているため、子  
供や孫に会いたくてもぐっと我慢。  
コロナの鎮静化を切に願っている。

長年にわたり田尻学区高齢者クラブに対し多大な功績をなされて  
いる沼田二一雄さんが、この度、  
田尻学区親交会千鶴会会長として、  
日立市高齢者クラブより表彰を受けられた。今後益々のご活躍が期  
待される。

## おもちゃライブラリー



## テントハウスで 楽しく遊ぶ親子

## ナイトパトロール



## 青少年健全育成部・広報部・ 市報梶包部の巡回（8月9日）

コミ推・地区社協の各部会で分担して、8月9日～30日まで4回にわたり、田尻小学校・幼稚園周辺のナイトパトロールを実施した。児童の安全、非行防止などを目的に、毎年夏休みに行っている。

人が人を支え合う糺  
人と云う字は「人が他の人  
を支え合う」象形文字である。  
昔の農業はほとんど手作業が  
多く苦労して田畠を耕作して

か▼この世に生を受けた赤ちゃんは自分では何もできず深い親の愛情により育ててもらわないと生きられない。その世話をしてくれた人が高齢となり役割が交替したと思えばよいのではないだろうか▼そもそも人間は一人で生きるのでなく支え合い助け合って生きている。今後益々少子化、高齢化が進み介護してくれる人が少なくなる。老々介護で健康に留意し介護予防に心がけて生きる他に道はない。



玄関の下足入れ清掃

大掃除中に避難訓練を実施



田尻学区のあけぼの  
田尻七丁目の「はまぎく荘」  
から「たじりはま児童公園」辺  
りは、かつては山林、田、畠の  
偏狭地区でした。そのため有  
効利用を目的に土地区画整理事  
業が行われ、街づくりが行われ  
てきました。この事業に並行し  
て同地内の「橋の作遺跡」発掘  
調査が昭和五十四年に行われま  
した。その結果、旧石器時代の  
水晶や安山岩・玄武岩等々の石  
器が出土しました。九千年前から  
一万年前の後期旧石器時代のも  
ので、石器時代から縄文時代の  
過渡期に当たるそうです。中で



「橋の作遺跡」の発掘調査（昭和54年）

## 田尻交流センターだより

### 囲碁・将棋対局について導入

交流センターでは、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、安心して趣味の囲碁・将棋を楽しんでもらおうと、特注した「透明のアクリル板について」12台を導入した。高さ120cmの費用と高さ95cmのテーブル用があり、透明のアクリル板の位置を調整できるのが特徴。利用者からは「従来通り違和感なく出来て良い」と好評である。



### 交流センター大掃除と避難訓練

8月1日、利用団体、高連、コミ推・地区社協など多数の参加のもと、大掃除を実施し、室内の清掃や外廻りの除草を行った。暑い汗を流し、おかげ様できれいになりました。また、大掃除中に避難訓練が行われた。

### 新シリーズ 『ふるさとの話』①

田尻浜支部 大森 政美

も水晶の石器は当時、県内でも珍しく、現在、日立市郷土博物館に陳列されています。田尻学区にも石器時代の証があつたのです。

### 編集後記

長い梅雨とコロナ禍による短い夏休み、相次ぐイベントや夏祭りの中止など、これまでとは様変わりした「新しい生活様式」に、誰もが戸惑いを感じた猛暑の夏でした。それでも、明日がやってくることに感謝して、五穀豐穫、恵みの秋に喜びを見いだしたいものです。今号も、皆様のご協力により無事発行することができました。有難うございました。



### 櫻井三男さん死去

長年、環境美化部

会長として貢献された櫻井三男さんが、

6月に永眠されました。学区としても、貴重な人材を失つた。櫻井三男さんは、誠に残念です。ご冥福をお祈りいたします。



コロナ除け祈願祭

### 支部トピックス

上田尻支部

### 田尻地域のコロナと災難除け祈願祭

今年は、年初めから新型コロナに日本中が苦しめられてきた。そのような中、梅雨時の豪雨で、ながら「コロナ除け」と「町内九州や中部地方などに大被害が出た。田尻学区では今のところ何事も起きていないが、油断はできない。上田尻地域では7月

26日に例年通り、お不動様を開帳した。特に、三密を考慮し安全」「全ての疫病除け」「災難防除」の祈願祭を行つた。関係者の方々のご協力で無事終了した。

